

ライフプランの必要性 ～私の場合、老後はどうなるか～

1. 国民の意識はどうなっているか？
2. 現状のままで、老後の生活資金は足りるのか？
3. 老後資金を形成するために必要なことは？
4. 老後資金の形成、具体的に何をやるの？

国民の意識はどうなっているか ~悩みや不安~

(暮らしと金融なんでもデータ:H15年度版よ

(単位:%)

り)

	老後の生活設計	自分の健康	今後の収入や資産の見通し	家族の健康	現在の収入や資産	家族の生活(進学・就職等)	自分の生活(進学・就職等)	勤務先での仕事や人間関係	家族・親族間の人間関係	事業や家業の経営の問題	近隣・地域との関係
1990年	32.8	43.5	21.0	38.2	10.7	22.8	9.2	9.9	5.2	8.5	---
1995年	37.1	41.3	23.8	36.1	19.0	23.2	10.6	10.7	10.1	7.9	5.3
2001年	47.1	43.6	37.8	38.5	27.5	23.1	12.0	9.2	8.4	10.1	5.1
2002年	43.7	44.8	36.5	35.9	27.0	23.5	14.6	11.4	9.1	8.7	5.1
2003年	50.0	46.3	41.7	38.4	28.6	24.6	13.9	11.1	9.8	9.2	5.5

	50.5	57.4	59.8	40.8	32.9	24.5
	21.5	27.4	39.6	46.5	57.4	71.1
	20.4	34.5	48.3	62.3	53.3	46.9
男	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳~

国民の意識はどうなっているか ~貯蓄の目的~

(暮らしと金融なんでもデータH15年度版より)

(単位:世帯割合、%)

	病気・災害への備え	子供の教育資金	子供の結婚資金	住宅取得・増改築資金	老後の生活資金	耐久消費財の購入資金	旅行・レジャー資金	納税資金	遺産を子孫に残す	特に目的はない
1885年	77.2	43.0	17.1	19.8	42.5	10.5	4.8	5.4	---	26.4
1990年	74.3	40.0	17.3	18.3	52.4	12.0	8.1	5.2	---	25.7
1995年	71.2	33.9	14.7	20.0	52.9	10.2	12.1	4.3	3.1	25.2
2000年	67.5	32.2	11.8	18.4	55.9	12.0	14.3	5.3	3.2	27.1
2001年	69.4	31.4	10.2	18.1	58.6	11.9	13.9	5.0	3.2	26.2
2002年	69.1	30.8	9.6	17.8	56.9	11.9	13.5	5.1	3.6	26.9
2003年	73.3	31.2	9.2	18.0	60.4	11.3	12.0	5.6	3.9	25.4

世帯主年齢

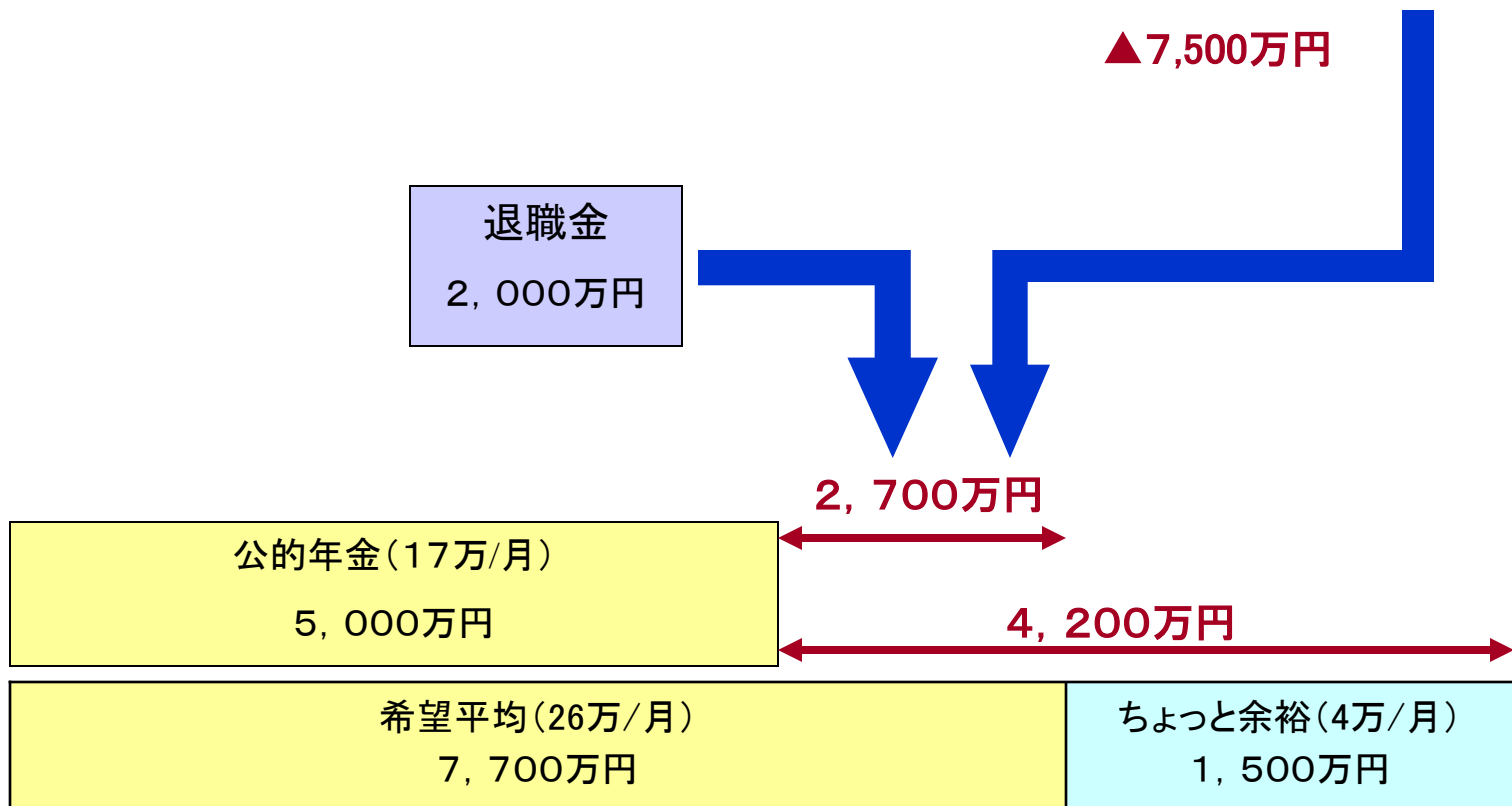
16.9	20.4	44.6	70.9	78.9	74.8
54.5	57.8	64.4	74.5	82.9	83.7
20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳~

現状のままで、老後の生活資金は足りるか？

現役生活

収入	2億円 40万/月 × 40年							共稼ぎ・援助
支出	税・社保	保険	結婚	住宅	教育	車	生活	老後
	3,000万	1,500万	500万	5,000万 頭金500万 借2,500万 修繕500万	2,000万	4,500万	11,000万	
	10~20%	3万/月			1,000万/人	200万/7年	23万/月	

老後生活



老後資金を形成するために必要なことは？

死亡→医療・生存
保障と貯蓄の分離
ライフスタイルの変化

繰上げ返済
買うべきか
借入できるか

自助努力

自己責任

税・社保 3,000万	保険 1,500万	結婚 500万	住宅 5,000万	教育 2,000万	車 4,500万	生活 11,000万	老後
----------------	--------------	------------	--------------	--------------	-------------	---------------	----

生涯収入 2億円

減少

もらえるか
いくらもらえるか
ローン支払可能か

公的年金
5,000万円

減少

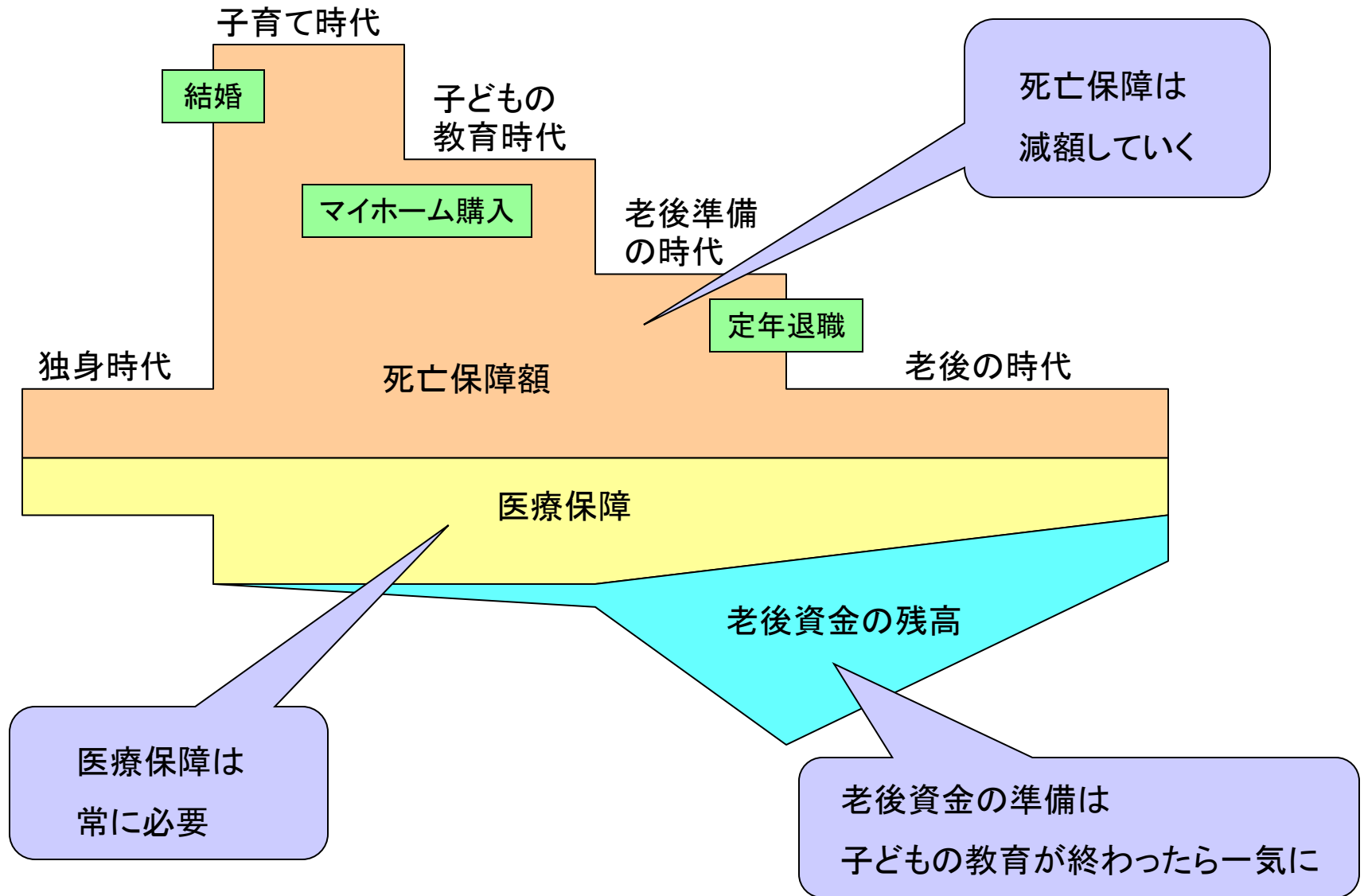
退職金
2,000万円



支出計画
(教育・車・住宅)
株を始めた(20代)

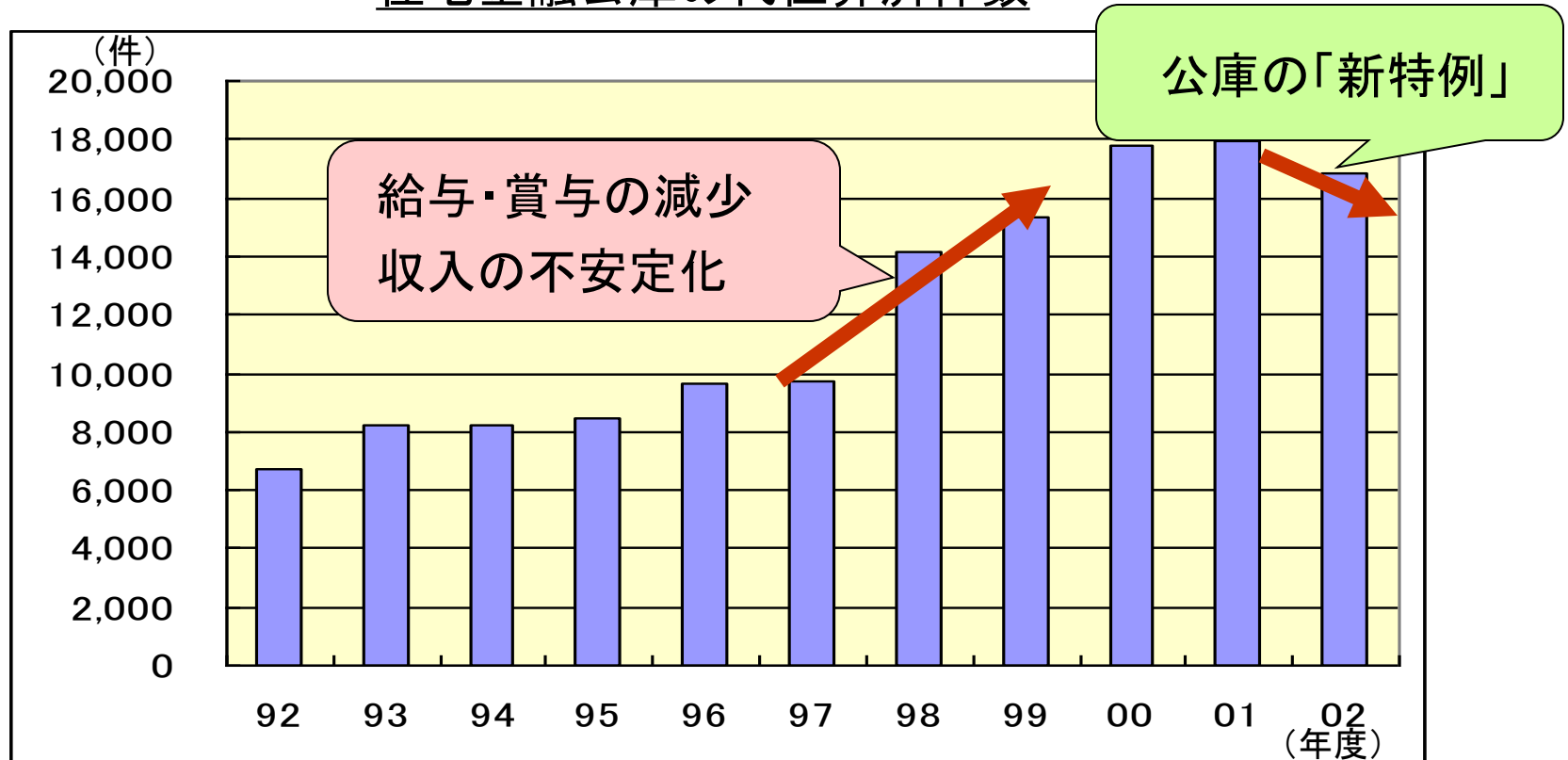
老後の生活資金

老後資金の形成、具体的に何するの？(保険)



老後資金の形成、具体的に何するの？(住宅)

住宅金融公庫の代位弁済件数



国民生活白書より

「借りられる金額」と「返済できる金額」は別物

→身丈に合った物件を購入